



0

<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

誤嚥性肺炎（唾液の誤嚥）で入院する患者さまへ

0

・患者氏名	○	様 病名：誤嚥性肺炎	発熱、酸素化不良、誤嚥 症状： などの肺炎症状	主治医： ○	印	受け持ち看護師：
項目	月 日	1月0日	1月1日	～	月 日	月 日
		入院日	2日目から退院前日まで		退院前日	退院日
達成目標	誤嚥予防などの生活の注意点の必要性を理解できる。					
治療・薬剤 (内服)	・必要時酸素吸入を行います。 ・抗生剤の点滴を開始します。 ・必要時検査を医師の指示で行います。 ・持参されたお薬は病棟担当薬剤師が確認いたします。医師に指示されたお薬をお飲みください。		・医師の指示まで、毎日抗生剤の点滴があります。 ・必要時、酸素吸入を行います。 ・手洗いをこまめにしましょう。 ・状態に応じて呼吸ケア（体位ドレナージ、呼吸介助）を行うことがあります。 ・必要時、歯科の受診をすることがあります。 ・状況に応じて、食事、水分の飲み込みの状況を検査します。			
活動・安静度	・活動制限はありません。 ・熱がある時は、安静にしてください。					《退院後の注意点》 ・退院後は外来で経過を診ます。 ・38度以上の発熱や呼吸困難や体調不良時は病院に連絡をして下さい。 ・退院後の生活の注意点のご説明を看護師よりさせていただきます。 ・歯磨きをしてください。 ・定期的に歯科受診をしてください。
食事	・医師の指示まで禁食となります。飲水に関しては、医師の指示のもと、（少量のみ・飲水禁止）となりますのでご説明させていただきます。 ・特別な栄養管理は有。		・食事、飲水に関しては、状態に合わせて医師の指示をご説明させていただきます。			 
リハビリ	・状態に合わせて、運動や飲み込みのリハビリを行います。					
患者様およびご家族への説明	・看護師より入院生活についての説明を行います。 ・入院前のご様子や生活習慣などについてお伺します。		・看護師より、生活習慣の問題点を一緒に考えます。 ・安全な食べ物の種類や食べ方や、口腔ケアの方法について説明を行います。		・退院準備として、退院後の生活の注意点、感染予防の確認をします。	《退院日の流れ》 ・9時半にお会計ができます。 ・会計が終わりましたら病棟カウンターにお寄り下さい。 ・診察券と次回外来予約票をお渡しします。 ・リストバンドは最後に看護師が外します。

E1 場合によっては内容を変更することがあります。 注2 病状によっては退院日が前後することがあります。

014019 2025.7.24

薬剤師、栄養士、リハビリテーションスタッフ、MSWが、必要に応じて、対応いたします。

年 月 日 患者氏名

(代理人の場合) 代理人名

(続柄)